

住宅改修が必要な理由書

記入要領

< 基本情報 >

| | | | | | | | | | | |
|-----|--------|-----------------|-------------------------|------|---|---|---|----|---|---|
| 利用者 | 被保険者番号 | 年齢 | 歳 | 生年月日 | 年 | 月 | 日 | 性別 | 男 | 女 |
| | 被保険者氏名 | 要介護認定 (該当に) | 経過的要介護・要支援1・要支援2 要介護 | | | | | | | |
| | 住所 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----|-------|--------------------|---|---|-----|---|---|---|
| 作成者 | 現地確認日 | 年 | 月 | 日 | 作成日 | 年 | 月 | 日 |
| | 所属事業所 | | | | | | | |
| | 資格 | (作成者が介護支援専門員でないとき) | | | | | | |
| | 氏名 | | | | | | | |
| | 連絡先 | | | | | | | |

| | | | | | |
|-----|-----|---|---|---|-----|
| 保険者 | 確認日 | 年 | 月 | 日 | 評価欄 |
| | 氏名 | | | | |

福祉用具の利用状況とともに、改修後、利用が想定される福祉用具をレ点チェックする。

< 総合的状況 >

| | | |
|---------------------------|--|---------------------|
| 利用者の身体状況 | 立ち上がりやバランスの保持、移動といった生活動作に関する身体状況を記述する。屋内の移動方法(つかまらないうで歩ける・つたい歩き・介助歩行・つえや歩行器利用・車椅子介助など)は必ず記述する。さらに、屋外に関連する改修をする場合は、屋外の移動方法も必ず記述する。 | 福祉用具の現状の利用状況と改修後の想定 |
| 介護状況 | 各種介護サービスだけでなく、家族の介護も含めた介護状況を記述する。見守り程度の状況であっても、その内容を記述する。 | |
| 住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか | 利用者や家族が住宅改修によって現在の暮らしをどのように変えたいのか、あるいは継続していききたいのかを、専門職の判断も踏まえた上で、総合的に記述する。これまでの生活歴を踏まえ、利用者はどのような社会参加をしていききたいのかを記述する。具体的な改修方針や改修項目は「P2」に記述する。 | |
| 住宅改修により、利用者等の日常生活がどう変わったか | 住宅改修の実施により、利用者や家族の日常生活がどう変化したのか、それにより生活活動の自立性が促進されたのか、専門職の判断も踏まえた上で、客観的・総合的に記述する。目的としていた住宅改修を行うことができたのかどうかを記述する。 | |

| | 改修前 | 改修後 |
|-------------|-----|-----|
| 車いす | | |
| 特殊寝台 | | |
| 床ずれ予防用具 | | |
| 体位変換器 | | |
| 手すり | | |
| スロープ | | |
| 歩行器 | | |
| 歩行補助つえ | | |
| 認知症老人徘徊感知機器 | | |
| 移動用リフト | | |
| 腰掛便座 | | |
| 特殊尿器 | | |
| 入浴補助具 | | |
| 簡易浴槽 | | |
| その他 | | |
| () | | |
| () | | |
| () | | |

「その他」の欄には、住宅改修に関連した介護保険給付対象外の福祉用具を記入する。

| | |
|-------|---------------------|
| 改修完了日 | 住宅改修完了日・評価実施日を記入する。 |
| 評価年月日 | |

住宅改修が必要な理由書

< P1の「総合状況」を踏まえて、改善しようとしている生活動作 具体的な困難な状況 改修目的と改修の方針 改修項目 改修箇所を具体的に記入してください。 >

| | 改善しようとしている生活動作 | の具体的な困難な状況(…の…で…で困っている)を記入してください | 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください | 改修項目 | 改修箇所 |
|------------|--|---|--|---|---|
| 排泄 | 改善しようとしている具体的な動作についてレ点チェックをする。今回改修の対象でない項目にはレ点チェックする必要はない。 | 生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述する。 ・本当は…したいのだが、実際には…しかできないので、…について困っているというように具体的に記述する。 ・「動作」のレベル(例えば、「立ち上がる」「歩く」「車椅子を押す」「まく」「段差昇降」「扉を開閉する」など)で、それがどのように困難なのかを具体的に記述する。 | できなかったことをできるようにする 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他() | 手すりの取り付け 様々な角度から検討し、決定された改修内容の項目(住宅改修の種類)をチェックする。 「その他」の欄には必要に応じて付帯工事を記述する。 | 場所だけではなく、「手すり」であれば「便器横壁面」等その取り付け位置や寸法等も具体的に記述すると良い。 |
| 入浴 | 入浴・排泄・外出活動に関連しての、浴室・トイレ・玄関までの移動については各活動の欄にレ点チェックする。 (ただし、この場合の移動についての、排泄・入浴・外出・その他、各活動に共通する内容は、において、例えば「排泄」の欄のみに記述し、各活動の欄に重複して記述する必要はない。) | ・改修案の検討の際は全ての活動についてチェックが必要だが、理由書では改善しようとする活動の記述のみでよい。 ・生活のどの場面、どの動作が利用者・介助者にとって大変なのか、動作の流れに沿って見極めること。 寝たきりならば「座位が保てるか」、歩行ができれば「段差を超えられるか」などについても確認する。 | できなかったことをできるようにする 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他() | 引き戸など扉の取替え 滑り止めなど床材の変更 その他 | |
| 外出 | その他() | ・のレ点チェックと のコメントの両方を合わせて利用者の状況が伝わるようにする。 | できなかったことをできるようにする 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他() | 手すりの取り付け 段差の解消 引き戸など扉の取替え 滑り止めなど床材の変更 その他 | |
| その他(行為の動作) | 「その他の活動」の欄には「排泄」「入浴」「外出」以外の活動の生活動作を記述する。 (例えば「調理:台所までの移動」や「洗濯:洗濯機からの洗濯物の取り出し」など) | 各動作が意図した変化をしたかどうかをチェックする。 | できなかったことをできるようにする 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他() | 手すりの取り付け 段差の解消 引き戸など扉の取替え 滑り止めなど床材の変更 その他 | 「排泄」なら「排泄行為が全体として目的を達成したか」どうかチェックする。 |

自己評価欄。改修後、各動作が意図したように改善したものにレ点を入れる。

自己評価欄。改修後、各行為全体として目的達成したものにレ点チェックを入れる。